

# 葉芽の発育異常—群落内の花芽形成の減少—

石 沢 進

2006年秋に新潟市新津の金津お茶山に自生するツバキには、花芽（蕾）のつき方に異常を感じたので、その実態を記録する。お茶山のツバキは、ユキツバキに近いが、ヤブツバキの形質を備えているユキバタツバキの自生地である。ユキツバキ、ヤブツバキいずれかのツバキの自生地と同じような事例がありましたらご教示願いたい。

背丈1mを超すようなツバキの木には、普通秋に数個の花芽がついている。しかし、今年はかなり大きな株でも花芽のつき方が少なく、個体によっては全く着蕾がみられない。その原因の一つには、蕾をつける新芽の生長異常にあると思われる。ツバキは春に枝が伸び、新しい葉の展開が終了する6月下旬ころから新芽の形成を始めて8月中にほぼできあがる。花芽はその新芽の基部にできる（最外部の苞に腋生する）。秋になると蕾の方が大きくなるので枝の先に蕾がついているように見えるが、形成の順序は葉芽ができ、その後から花芽ができる。新芽に異常が起これば、花芽の形成にも異常が起これるとみることができ。新津のツバキの集団に何らかの変化が起きたと推定される。

新しい葉芽や花芽の異常な状況についていくつかの事例をみると次のような場合が目につく。

## 昆虫など葉芽の食害

写真1 3個の葉芽 枝の頂部の左右2個は翌年の春に展開するもの

左：中央の葉芽に腋生（本来ならばこの芽は花芽となることが多い）

中央：昆虫の食害で枯死（本来ならば頂芽となり、翌春展開する）

右：最上葉に腋生（株の上部の枝で、良好に生長した場合に発達する）

## 葉芽の発育停止

写真2 1個の葉芽 翌春に展開するもの  
枝の最上葉に腋生した芽で、写真1の右側の葉芽と同じもの  
頂芽となるはずの葉芽は発育停止あるいは食害で枯死している

写真3 葉芽2個発育停止 翌春にはこの枝では芽が伸長しないで休眠する

左：最上葉（この枝では落下）に腋生した芽で枯死している

右：葉芽未発育（本来ならば頂芽となるが、

翌春には休眠する）

写真4 枝の頂芽は発育できず、翌春にはこの枝では芽が伸長しないで休眠するか、遅れて夏に展開する可能性がある

枝の上部に形成する芽としては、極めて異常な例とみられる。多分、枝の最上の葉が発育の初期の段階で落下して結果、枝先に正常な葉芽が形成されなかつたものと推測される（左側下方の小さい芽は落下した葉に腋生したものとみられる）

## 花芽の正常発育

写真5 枝の頂部に花芽と葉芽が発育し、翌春花が咲き、葉芽が伸長する

芽の形成順序をみると春先伸びた枝に葉が展開した後、枝の最上葉の先に、葉芽が形成され、その芽の最下の苞に腋生するように花芽ができる。つまり、花芽は葉芽に着生する形をとり、秋に花芽が完成した段階では、花芽が大きく目立つが、葉芽が小さい

（写真では左から花芽、葉芽、最上葉の順に枝の頂部にでき、最上葉の腋に小さい芽があるが、翌春には伸長しない休眠芽となる）

写真6 写真5と全く同じであり、裏返してみたもの（写真では左から最上葉、葉芽、花芽が枝の頂部についている）

## 枝の頂部の花芽と葉芽

写真7 枝の頂部の花芽、葉芽、最上葉のうち、葉芽が枯死したもの

写真8 枝の頂部の花芽、葉芽、最上葉のうち、葉芽が枯死したもの、ただし最上葉の腋芽が発育して頂芽にかわつたもの

写真9 枝の頂部の花芽、葉芽、最上葉のうち、葉芽の発育が完全でないもの

写真10 枝の頂部に花芽、葉芽、最上葉が欠損し、葉芽の発育が完全でないもの

写真11 枝の頂部に花芽2ヶ、葉芽、最上葉、最上葉の腋に花芽が発達したもの

（写真左から花芽、葉芽、最上葉に腋生し

た花芽、最上葉)

写真12 最上葉が發育の途中で落下、異常な芽の形成 (写真4は枝の頂部拡大)

最上葉が欠損したので、その下の葉の腋芽 (葉芽) に花芽が形成

新津お茶山の群落に花芽が少なかったのは、正常に發育する葉芽が少なかったことも一因のようである。群落内の各株でどの程度の發育異常が起こっていたか、数量的な調査を行っていないが、例年に比べると多かったようである。

花芽の異常を起こした要因には、昆虫などの食害、異常な環境条件による葉芽形成の發育障害、あるいはそれら両者平行の起因などが考えられる。詳細については、今後の観察で注目していきたい。



写真1



写真2



写真3

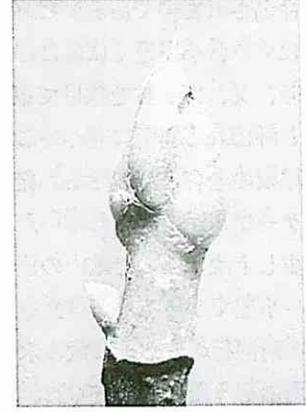


写真4

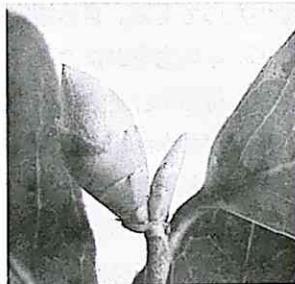


写真5



写真6



写真7

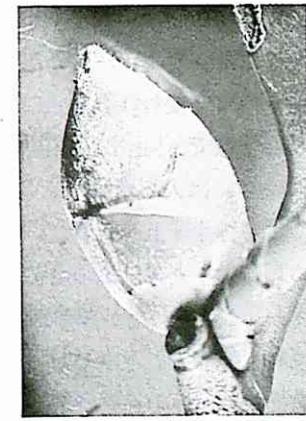


写真8

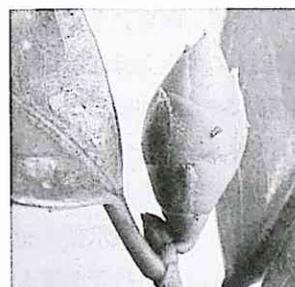


写真9

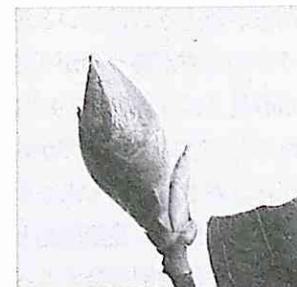


写真10

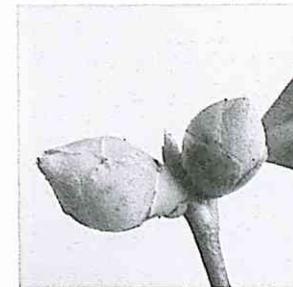


写真11

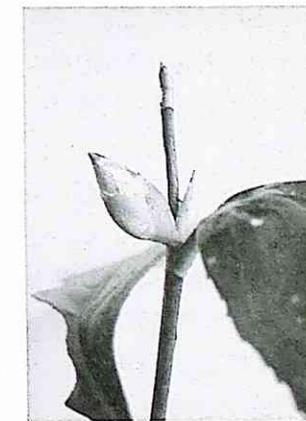


写真12